

南城市立船越小学校
創立 80 周年記念式典
要 覧



令和 8 年 1 月 2 5 日（日） 受付 14:30

記念式典 15:00

〒901-0618 沖縄県南城市玉城船越 960 番地

TEL : 949-7108 FAX : 949-7137

e-mail: funasho-kyoutou @edu.city.nanjo.okinawa.jp

目 次

- | | |
|---|-------------|
| 1. 式次第 | 【 P1 】 |
| 2. 船越小学校 校歌 | 【 P2 】 |
| 3. 式辞（南城市立船越小学校 校長 高島友幸） | 【 P3 】 |
| 4. 式辞（記念事業実行委員会 会長 玉城健志） | 【 P4 】 |
| 5. 祝辞（南城市長 大城憲幸） | 【 P5 】 |
| 6. 祝辞（県教育庁島尻教育事務所 所長 石嶺真哉） | 【 P6 】 |
| 7. 祝辞（南城市教育委員会 教育長 具志堅兼栄） | 【 P7 】 |
| 8. お祝いの言葉（PTA会長 下門大吾）
児童代表あいさつ（R7年度 児童会役員） | 【 P8 】 |
| 9. 創立80周年記念事業 経過報告 | 【 P9～P10 】 |
| 10. 船越小学校の沿革 | 【 P11～P14 】 |
| 11. 創立80周年記念事業実行委員会 会則 | 【 P15～P18 】 |
| 12. 創立80周年記念事業実行委員会 組織図 | 【 P19 】 |

式 次 第

司 会 大城 憲政

- | | | | |
|---|--------|--|--------------------------|
| 1 | 開式のことば | 創立記念実行委員会 副会長 | 下門 大吾 |
| 2 | 校歌斉唱 | 指揮 | 丹野 千草 |
| 3 | 式 辞 | 学校長 | 高島 友幸 |
| 4 | 式 辞 | 創立記念実行委員会 会長 | 玉城 健志 |
| 5 | 喜びのことば | 児童代表 | 比嘉 新 |
| 6 | 祝 辞 | 南城市長
県教育庁島尻教育事務所 所長
南城市教育委員会 教育長 | 大城 憲幸
石嶺 真哉
具志堅 兼栄 |

【 三線演奏 】

久田栞花(5年)、前田まどか(5年)、親川ゆづき(6年)、瑞慶覧結海(6年)
鉢嶺來希(6年)、中村陽葵(6年)、根間紗奈(6年)、宮城琉華(6年)
和田信一(三線講師)、丹野千草(教諭)

- | | | | |
|---|-----------|----------------|-------|
| 7 | 経過報告 | 創立記念実行委員会 事務局長 | 城田 聡 |
| 8 | 記念事業品目録贈呈 | 会長から学校長へ | |
| 9 | 感謝状贈呈 | 創立記念実行委員会 会長 | 玉城 健志 |

【歴代校長】

第21代校長 兼島 景秀 氏 (平成26年度～平成28年度)
第22代校長 儀間 真栄 氏 (平成29年度～平成30年度)
第23代校長 大城 辰秀 氏 (令和元年度～令和2年度)
第24代校長 天久 三千代 氏 (令和3年度～令和4年度)

【歴代PTA会長】

第37代PTA会長 玉城 健志 氏 (平成27年度～平成28年度)
第38代PTA会長 金城 和哉 氏 (平成29年度～平成30年度)
第39代PTA会長 松原 正太 氏 (令和元年度～令和2年度)
第40代PTA会長 當山 全隆 氏 (令和3年度～令和4年度)
第41代PTA会長 川上 朝一 氏 (令和5年度～令和6年度)

【高額寄付者等】

・南城市商工会建設事業部会 ・(有)光和エンジニアリング
・下門 大吾

- | | | | |
|----|-----------|---------------|-------|
| 10 | 受賞者代表あいさつ | 第21代校長 | 兼島 景秀 |
| 11 | 閉式のことば | 創立記念実行委員会 副会長 | 徳田 高男 |

船越小学校 校歌

作詞 新 垣 庸 一

作曲 仲 本 朝 教

♩ = 120



み わ た す か ぎー り あ お みー ど り

た ご と の い ねー は い ろ はー え て

こ が ね の な みー も ゆ れー て いー る

み の り の あ きー も ち か づ い た

わ が ふ な こ しー は ゆ た か なー り

三、
平和の小鳩はばたきも
強く雄々しくすこやかに
自由の鐘もこだまして
希望の丘もほの見える
わが船越の誇りなり

二、
青田の中にそびえ立つ
わが学舎の船越は
いらかも高く青空へ
書読む声も和やかに
文化の華は咲き香る

一、
見渡すかぎり青緑
田毎の稲は色映えて
黄金の波もゆれている
稔りの秋も近づいた
わが船越は豊かなり



式 辞



南城市立 船越小学校

校 長 高島 友幸

本日ここに、船越小学校創立 80 周年記念式典を迎えることができますことは、誠に大きな喜びであり、長い歴史を支えてくださった多くの皆様のおかげであると深く感謝申し上げます。ご臨席のご来賓の皆様、そして日頃より温かく子どもたちを見守り、ご支援くださっている地域・保護者の皆様に心より御礼を申し上げます。

創立以来80年、本校は地域とともに歩み、幾多の卒業生を送り出してまいりました。なかでも、この10年は大きな飛躍と変化の歩みでありました。子どもたちが互いに力を合わせ、輝かしい成果をあげたことは、私たちの誇りであります。

学校沿革をひもときますと、文化面・運動面の両面において、児童の活躍は目を見張るものがあり、長い歴史の中で文武両道のすばらしい校風が培われてまいりました。本校はこれまで、各種研究指定校としての取組を進めるとともに、保護者や地域の皆様と連携しながら児童の教育に努め、着実な成果をあげてまいりました。近年、校区内の宅地化に伴い児童数は年々増加しておりますが、先人の方々が築いてこられた文武両道の精神は、確かに後輩へと受け継がれ、今日もなお多くの輝かしい成果として実を結んでおります。

一方で、コロナ禍という大きな試練にも直面しました。行事や活動が制限され、思い通りに学校生活を送れない日々もありました。しかし、その困難を乗り越える過程で、子どもたちは工夫する力や仲間を大切にする心をいっそう強くしました。制限の中で培った思いやりと忍耐は、これからの人生に必ず生かされることでしょう。

このように振り返りますと、この10年は、子どもたち一人一人が挑戦を重ね、大きく成長してきた10年であったと感じております。その歩みを温かく支えてくださいました保護者の皆様、地域の皆様、そして日々子どもたちと向き合い、ともに歩んできた教職員の尽力に、心より感謝申し上げます。

80周年という大きな節目を新たな出発点とし、私たちは次の10年、そして100周年に向けて歩みを進めてまいります。子どもたち一人ひとりが、自らの夢を持ち、仲間とともに未来を切り開いていけるよう、これからも地域と力を合わせ、温かく確かな教育を実現してまいります。

結びにあたり、創立80周年という節目を迎えるにあたり、本校の創立を慶び、さらなる発展を願って記念事業実行委員会を結成し、多大なるご尽力を賜りました玉城健志実行委員会会長をはじめ、実行委員会役員の皆様に心より感謝申し上げます。あわせて、物心両面にわたりご支援、ご芳志をお寄せくださいました保護者、地域の皆様、企業関係者、同窓生、学校関係者、行政当局の皆様に、深く御礼申し上げます。今後とも本校の教育活動を温かく見守っていただき、変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、船越小学校のさらなる発展と、ご臨席の皆様のご健勝とご繁栄を祈念し、式辞といたします。



式 辞

記念事業実行委員会

会 長 玉城 健志

新しい年が明け、過ごしやすい日々が続いております。母校が創立 80 周年を迎える節目のこの時に、卒業生として、そして今は記念事業実行委員会会長として、筆を取れることに大きな喜びを感じています。

船越小学校は、昭和 20 年 11 月 25 日に創立され、以来、80 年の歳月を歩んで来ました。これまで色々な歴史や伝統を紡ぎながら、地域の方々の協力のもと幾多の困難や変化を経て、現在の船越小学校があります。

第二次世界大戦終結後、テント張りで開設された校舎から始まり、幾度となく増築や改築、校舎の立替があり、今では素晴らしい近代的な校舎になりました。これも、これまで船越小学校に携わってきた玉城村、南城市、教職員の皆様、地域の皆様、卒業生の皆様のたゆまぬ努力と情熱が築き上げた、深い歴史ある場所だと感じております。

皆様もご存じの船越小学校校歌には「見渡す限り 青緑」という一節があります。目を閉じ、ひとたび思いを馳せれば、船越小学校のその風景が今も鮮やかに思い出されることでしょう。そんな豊かな自然に囲まれた船越小学校も、平成 18 年の市町村合併により、玉城村立から南城市立船越小学校へと変わりました。その後、インターネット環境の整備や学童の開設などが行なわれ、さまざまな情報にアクセスすることや子育て支援、教育の多様化に対応することが可能となりました。新しい設備が増える反面、昔ながらの遊びや環境が姿を消していく寂しさも感じますが、時代の流れと共に歩む中で、将来を担う児童の未来を輝かしいものにする責任もまた感じております。

今回、創立 80 周年の節目を迎えるにあたり、記念事業実行委員会では、これからの児童の育成にあたり、プロジェクター、製氷機の備品の購入をいたしました。また、記念式典の開催や記念誌の発行にあたり、多くの皆様にご協力を賜り、無事に事業を成し遂げることができました。皆様方のご尽力に改めて心より感謝申し上げます。

これまで、船越小学校を巣立った卒業生 4164 名は、今もいろいろな場所で活躍しております。「我々は、船越小学校卒業生だ」という自信と誇りを胸に社会貢献や子育てなど、それぞれの立場で歩みを止めることなく、輝き続けています。同窓生、教職員、保護者の皆様および地域の皆様には、今後ともより一層のご支援とご協力を賜れますと幸いに存じます。

結びに、船越小学校の限りないご発展と、在校生、同窓生皆様のご健勝、更なるご活躍を祈念申し上げます。式辞といたします。



祝 辞

南城市長 大城 憲幸

本日、ここに南城市立船越小学校の創立80周年記念式典が盛大に挙行されるにあたり、心よりお祝い申し上げます。船越小学校関係者の皆様、卒業生の皆様、そして地域の皆様、本日は誠におめでとうございます。

近年、国際化・高度情報化など社会環境の急激な変化に対応できる心豊かな人材の育成が急務であり、地域活性化の基本は人材育成であると言っても過言ではありません。

南城市においては、市制20年目を迎え、まちづくりや人材育成、情報化への対応など躍進を遂げていると実感しております。それも偏に地域のリーダーをはじめ住民の皆様の結束と住みよい街づくりへの熱い思いの賜物であります。

さて、小学校教育におきましても、児童に「生きる力」をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かし魅力ある学校づくりの充実が求められております。例えば、GIGAスクール構想により、児童生徒1人1台端末と高速ネットワーク環境が整備され、教育現場でのICT活用が進んでいます。また、学校運営協議会制度（コミュニティースクール）を導入し、地域住民が学校運営に参画することで、地域と一体になった教育活動が推進できるようになっております。

本校においては、昭和20年（1945年）11月に開校し、戦後の混乱の中で、地域の皆様や教職員の教育への情熱により、運動場の設置や校舎の改築など学校を支えて頂いたことが今日の節目につながっています。このことは、子供たちにとっても大変意味のあることです。地域の皆さんとのつながりを深める場となり、それが80年も続いてきたわけです。

今後も、コミュニティースクールの充実を通して学校と地域が一体となった教育活動を展開し、子供たちが社会とつながりを実感し、変化の激しい社会を生き抜くために必要な資質・能力を身に付け、将来の南城市を担う人材として成長していくことでしょう。

開校まもなくつくられた校章を拝見しましても、ペン先には「船越・愛地・前川」の団結力が、稲穂には「豊かさ」と力強さが学校と地域の思いとして込められており、今後も学校と地域が一丸となって優れた人材が輩出されるものと大いに期待しております。

私は、市政運営のビジョンの一つとして、常日頃から「地域づくりは人づくりから」を基本と考えております。今後も、国際的に活躍できる人材の育成を目指し、教育環境や施設設備の充実に努め、日本一元気で魅力ある「人材の街・教育の街」南城市づくりを力強く推進してまいります。

結びになりますが、本日の創立80周年の記念日が、先人の築き上げてきた輝かしい歴史と伝統を継続し発展させる誓いの日となり、これまでの大きな歴史に包まれながら、子供たちの健やかな成長を目指す新たな出発の日となるようご期待申し上げますとともに、ご臨席の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉と致します。



祝 辞

沖縄県教育長島尻教育事務所
所 長 石嶺 真哉

南城市立船越小学校が、昭和 20 年 11 月 25 日の創立以来、80 周年という大きな節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

また、船越小学校創立 80 周年の節目に向けて諸々取り組んでこられました記念事業期成会及び関係各位、在校生・卒業生の皆様、並びに地域の皆様におかれましても、重ねてお慶び申し上げます。

「見渡すかぎり青緑 田毎の稲は色映えて 青田の中にそびえ立つ」と船越小学校の校歌の一節にもあるように、80 年前の学校周辺には稲田が広がっていたことが想像できます。終戦直後の開校時はテント張り校舎 16 張からのスタートだったと伺っておりますが、戦後の混乱から人々が力を合わせて復興に取り組んでいた当時、船越小学校の開校は、地域の人々にとってまさに希望の光だったのではないのでしょうか。

創立 80 年。地域の景観は変われど、船越小学校は今も昔も変わらず学校・家庭・地域が連携・協働し、児童の資質・能力の育成に取り組んで頂いております。

学校の象徴である校章に描かれた三つのペン先は、船越・愛地・前川の各字の団結と勉学への励みを表すと共に、地域と学校が一体となって子どもたちを育ててきた歴史そのものも表していると感じます。子どもたちを巻き込んだ運動会や盆踊りが今でも字ごとに開催される等、地域全体で子どもたちを育てていくという開校当時の伝統と気風は、現在も変わっていません。

また近年、船越小学校は体育研究校としての取組が顕著で、全国学校体育優良校としての表彰もあります。子どもたちの運動能力調査では全国平均を大きく上回る成果を挙げ、特に立ち幅跳びでは全学年で全国平均を超える等、体力面での向上は目覚ましく、学業のみならず、学校の特色ある取組の成果が確実に実を結んでいます。

これまでの数々の取組と成果は、南城市当局並びに南城市教育委員会をはじめ、歴代学校長、教職員、保護者、船越・愛地・前川の各字の皆様の御尽力の賜であり、船越小学校が本地区の教育力の向上に大きく寄与してきたことに對し、心から敬意と感謝を表します。これからも、船越小学校が地域に愛され、子どもたちが安心して学び、成長できる場として、ますます発展されることを心より願っております。

結びに、船越小学校のこれまでの輝かしい伝統と、これからの教育活動の充実・発展に向けて、地域の皆様が心をついて、なお一層御尽力くださいますようお願い申し上げますと共に、子供たちの健やかな成長、そして保護者並びに地域の皆様の益々の御活躍を祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。



祝 辞

南城市教育委員会
教育長 具志堅 兼栄

このたび南城市立船越小学校の創立 80 周年記念式典が盛大に挙行されるにあたり、心からお祝い申し上げます。

本校は昭和 20 年 11 月 25 日に戦前の製糖工場跡地を活用して児童数 532 名の「8 年制初等学校」として設立されました。創立当初の学校施設はテント校舎 16 張でスタートし、満足のいく環境ではなかったと聞いております。戦後混乱期の物資の無い中、地域の皆様や教職員の教育に対する強い思いと情熱によって運動場の整地や校舎の改築など教育環境の整備に取り組み、今日の船越小学校の礎を築いて下さいました。このような地域の先輩方のご努力により、めざましい発展を遂げていることに深甚なる敬意と感謝の意を表します。

平成 18 年 1 月には四町村合併に伴い、南城市立船越小学校となり、先生方や児童、保護者並びに地域が一体となって、輝かしい歴史を刻んでおられることは、地域の皆さんをはじめ南城市民の大きな喜びとするところであります。

船越小学校は、令和 6 年度までに 4,164 人の有為な人材を社会に送り出しています。卒業生は県内外を問わず政治、経済、教育、文化など、様々な分野で活躍し、南城市及び沖縄県発展の原動力となっておられることはご同慶の至りであります。

これも偏に歴代校長先生をはじめ諸先生方、歴代 P T A 会長、保護者の方々、そして本校に深い信頼を寄せる地域の皆様の汗と涙と子弟愛の賜だと捉えています。

長い歴史の中で教育活動や研究活動を着実に積み重ね、輝かしい成果を収めてきました。これまでの取組では道徳研究校、交通安全優良校などで知られ、平成 12 年には全国学校給食研究協議会において「文部大臣賞」を受賞、保護者や地域の皆様の学校に対する支援のもと平成 19 年度には「P T A 文部科学大臣賞」を受賞、さらに平成 26 年には読書活動実践優秀校として読み聞かせボランティアの皆さんが「文部科学大臣賞」を受賞するなど教育活動の充実が顕著であります。

また、令和 4 年度から 3 年間にわたり沖縄県教育委員会指定「体育・スポーツに関する教育実践校」としての研究を重ね、スポーツ庁・日本学校体育研究連合会より「令和 6 年度全国学校体育優良校」の表彰を受けました。今回の創立 80 周年を記念し、本校の教育活動のさらなる活性化につながるものと期待しております。

教育委員会といたしましては、今後とも「心豊かな人材を育む教育・文化のまちづくり」を基本方針とし、「地域づくりは人づくりから」の考えのもと、国際的に活躍できる人材の育成を目指し、教育環境や施設設備の充実に努め、地域から信頼される学校づくりを推進してまいりたいと思います。

結びに、船越小学校のこれまでの素晴らしい歴史を踏まえ、この 80 周年を契機として、ふるさとを愛し、これからの社会をたくましく生きていく子どもたちの育成にこれまで以上に地域の皆様、学校関係者の皆様にご協力を賜りますとともに、皆様のご健勝と船越小学校のますますのご発展を祈念しお祝いの言葉といたします。

本日は誠にありがとうございます。

船越小学校創立 80 周年おめでとうございます。

PTA 会長 下門 大吾

このたび、船越小学校 80 周年記念という輝かしい節目をむかえることができました。心からお祝い申し上げます。

80 年の歴史は、地域の皆様、歴代の職員、そして多くの保護者の皆様の、深い愛情とたゆまぬ支えの積み重ねでありましょう。

校舎から聞こえる子供達の明るい声、生き生きと学ぶ姿は、この学び舎が常に、希望と未来を育む場所であり続けた証です。

私たち PTA は、学校と家庭、地域をつなぐかけ橋として、これからも、教職員の皆様と力を合わせ

子供達が安心して学び、のびのびと成長できる環境づくりに努めてまいります。

新たな時代を担う子供たちが、船越小学校で、得たさまざまな経験を胸に、大きく羽ばたいて、いけるよう、これからも温かく見守り、支えていきたいと思ひます。

80 周年という良き年に、改めて感謝の気持ちを込めまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

皆様のますますのご健勝と、船越小学校のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。

児童代表あいさつ

令和 7 年度 児童会役員

私たちの船越小学校は、今年で創立 80 周年になりました。平和学習で学んだ沖縄戦も戦後 80 年をむかえ、船越小学校は同じように本当に長い歴史があることを知りました。

長い時間の中で、校舎や運動場、体育館など学校の姿は変わってしまったかと思いますが、先輩たちとの繋がりを感ずることがありました。それは、運動会で踊った校歌ダンスです。

校歌の歌詞に合わせて、いろいろな動きやポーズがあって、全校児童で楽しく元気に踊りました。今年、卒業する私たちにとって素敵な思い出の 1 つになりました。

これからもふなっ子みんなが楽しく過ごせる船越小学校であるために、みんなで力を合わせてがんばりたいです。

福地 杏南、瑞慶覧 結海、八幡 莉子
玉城 里盛、平良 友謙、比嘉 新

創立 80 周年記念事業経過報告

- R7.2.18 第 1 回準備委員会
会長の人選、周年事業の持ち方
- ※ R6.12.25 創立 80 周年記念イメージキャラクターの募集 → 137 名の児童から募集
- R7.2.27 第 2 回準備委員会
イメージキャラクターの選出、会長・副会長の決定、
周年事業について、総会に向けて(規約・予算・組織 他)
- R7.3.11 第 3 回準備委員会
総会の確認、組織づくり 他
- R7.3.25 創立 80 周年実行委員会 設立総会
- R7.4.22 第 1 回役員会
事業計画、各委員会の役員
- ※ R7.4.24 創立 80 周年記念イメージキャラクターの完成 → ふなこっしー完成！！
- R7.5.13 第 1 回拡大実行委員会
顔合わせ、事業計画、事業の周知について
- R7.6.3 第 2 回役員会
各委員会の委員について、事業の近況報告
- R7.1 第 3 回役員会
寄付に関すること、各委員会の取組状況
- ※ R7.7.3 児童会役員との作戦会議 → 児童会主催のイベントの計画
- R7.7.7 第 4 回役員会・第 2 回拡大委員会
各委員会の進捗状況、記念タオルの作成・販売、資金造成(募金)活動
ふなっ子祭り、記念誌発行について
- R7.8.26 第 5 回役員会
各委員会の進捗状況報告、ふなっ子祭りについて
- R7.9.2 第 6 回役員会・第 3 回拡大委員会
各委員会の進捗状況報告、ふなっ子祭りについて
- R7.9.30 第 7 回役員会
ふなっ子祭りについて

- R7.10.7 第8回役員会・第4回拡大委員会
各委員会の進捗状況報告、ふなっ子祭りについて
- R7.10.14 第5回拡大委員会
ふなっ子祭り最終打ち合わせ
- ※ R7.10.22 児童会主催イベント → ふなこっしーを探せ！
- R7.10.26 創立80周年記念事業「ふなっ子祭り」
ステージの部やゲーム、フリーマーケットなど、たくさんのブースが祭りを盛り上げて、たくさん子ども達や保護者を楽しませていました。
- R7.11.4 第9回役員会
ふなっ子祭りの報告・反省、タイムカプセル開封式
- R7.11.18 第10回役員会
各委員会の進捗状況について
- ※ R7.11.25 タイムカプセル開封式
船越小学校創立日に、10年前6年生だった皆さんが埋めた思い出の品を掘り起こしました。
- ※ R7.11.27 記念誌用集合写真
全児童で記念誌用の集合写真を撮りました。(クリアファイルにして子ども達へプレゼントです)
- R7.12.2 第11回役員会
資金造成について、記念誌作成進捗状況について、記念式典について
- R7.12.9 第6回拡大委員会
創立記念式典に向けて
- R7.12.11 第12回役員会
記念誌発行による掲載事項について
- R8.1.6 第13回役員会
各委員会の進捗状況、創立記念式典の役割分担
- R7.1.13 第7回拡大委員会
各委員会の進捗状況、創立記念式典の最終確認
- R7.1.25 船越小学校 創立80周年記念式典

船越小学校の沿革

年度	月	日	摘要	児童数
2016 年	4 月		生盛斉 教頭 他 6 名就任	335
2017 年	4 月		第 22 代校長 儀間真栄 校長 他 6 名就任	337
	6 月		5 年生離島体験	
2018 年	4 月		高島友幸 教頭 他 6 名就任	357
2019 年	1 月		県教育委員会による学校給食週間学校訪問	357
	3 月		第 74 回卒業式 (男子 31 名 女子 30 名) 卒業生合計数 3804 名	
2019 年			第 23 代校長 大城辰秀 校長 他 10 名就任 第 75 回卒業式 52 名 卒業生合計数 3856 名	358
2020 年			入松川浩 教頭 他 11 名就任 第 76 回卒業式 58 名 卒業生合計数 3908 名	366
2021 年			第 24 代 校長 天久 三千代 校長 他 8 名就任	377
2022 年			今井一義 教頭 他 13 名就任 令和 4～6 年度 沖縄県教育委員会指定 「体育・スポーツに関する教育実践校」	394
2023 年	4 月	8 日	令和 5 年度始業日 第 25 代 校長 高島 友幸 他 10 名 就任 赴任式・始業式	402
		11 日	入学式 74 名入学	
	5 月	25 日	避難訓練 (不審者)	
		28 日	日曜授業参観	
	7 月	7 日	字こども会	
	9 月	28 日	社会見学 (1 年～5 年)	
	10 月	14 日	運動会	
	11 月	25 日	修学旅行 (6 年)	
	12 月	21 日	芸術鑑賞会 (全学年)	
	1 月	25 日	南城市教育の日・学習発表会	
	2 月	22 日	校内トリムマラソン大会	
	3 月	8 日	6 年生を送る会	
		21 日	第 79 回卒業式 67 名 卒業生合計数 4010 名	

年度	月	日	摘要	児童数
2023 年	3 月	22 日	令和 5 年度修了日 修了式・離任式（12 名離任）	402
2024 年	4 月	8 日	令和 6 年度始業日 赴任式・始業式 城田聡 教頭 他 15 名 赴任	407
		9 日	入学式 63 名入学	
		18 日	スタートカリキュラム取材訪問（県教育庁義務教育課）	
		26 日	1 年生を迎える会	
	5 月	2 日	春の遠足（雨天のため校内での実施）	
		19 日	日曜授業参観・引き渡し訓練	
		21 日	1 年生交通安全教室	
		31 日	県教育庁保健体育課主催事業 「体育科コーディネーター公開授業」 金城裕治教諭、6 月 1 日付けで、南城市立大里南小学校教頭へ昇任（途中人事異動）	
	6 月	5 日	不審者避難訓練実施	
		11 日	平和集会・講話（3 年生以上 ～ 17 日まで）	
		20 日	5 年生自然体験学習①（石川青少年の家）	
		27 日	5 年生稲作体験（受水走水）	
	7 月	5 日	字子ども会	
		12 日	5 年生職業講話 「ペンキ画家 SHOGE N」	
		19 日	1 学期終業日 4 校時終業式（オンライン）	
	8 月	21 日	6 年生サマースクール（5 回）	
		29 日	2 学期始業日 2 校時始業式（オンライン）	
	9 月	11 日	授業参観日	
		19 日	P T A 主催校内童話お話大会	
		27 日	5 年生稲刈り体験（受水走水）	
	10 月	1 日	5 年生自然体験学習②（玉城青少年の家）	
		17 日	県教育庁学力向上学校支援訪問	
	11 月	9 日	運動会（雨天のため体育館で実施）	

年度	月	日	摘要	児童数
2024 年		20 日	船っ子ビュンビュン大会	407
		25 日	芸術鑑賞会（音楽）	
		28 日	島尻地区小学校音楽発表会 （6 年生出場 学級合唱 独唱）	
	12 月	8 日	6 年生修学旅行 （～ 9 日 本島北部周辺）	
		20 日	沖縄県教育委員会指定 「体育・スポーツ推進校」研究発表会	
		25 日	2 学期終業日 2 校維終業式	
	1 月	7 日	3 学期始業日 2 校時始業式	
		17 日	火災避難訓練	
		26 日	南城市教育の日 学習発表会	
	2 月	28 日	校内トリムマラソン大会	
	3 月	7 日	6 年生を送る会	
		13 日	感謝の会	
		19 日	第 80 回卒業式 68 名 卒業生合計数 4164 名	
		21 日	令和 6 年度修了日 修了式・離任式（10 名離任）	
2025 年	4 月	8 日	令和 7 年度始業日 赴任式（14 名赴任）一学期始業式	415
		9 日	令和 7 年度入学式 68 名入学	
		22 日	保護者と担任との顔合わせ（～ 24 日まで）	
	5 月	2 日	遠足	
		9 日	性教育教室（3 年生、5 年生） 1 年生を迎える会（5 校時）	
		12 日	南城市教育委員会学校訪問	
		14 日	島尻教育事務所所長学校訪問	
		18 日	日曜授業参観日 （学級保護者会・児童引き渡し訓練）	
		26 日	1 年生交通安全教室	
	6 月	12 日	5 年生田植え体験（受水走水） 6 年生糸数壕追体験	

年度	月	日	摘要	児童数
2025 年	6 月	15 日	愛校作業（愛地・校区外）	415
		19 日	5 年生自然体験学習（石川岳登山）	
	7 月	2 日	6 年生平和祈念資料館見学	
		4 日	字子ども会	
		9 日	6 年生着衣泳法（7 月 10 日 5 年生）	
		18 日	1 学期終業日 1 学期終業式	
		19 日	夏季休業日（～ 8/28 まで）	
		23 日	6 年生サマースクール（～ 28 日） 保護者との個人面談（～ 28 日）	
	8 月	29 日	2 学期始業日 2 学期始業式	
	9 月	10 日	授業参観日	
		18 日	5 年生稲刈り体験（受水走水）	
	10 月	3 日	5 年生自然体験（野外炊飯活動）	
		9 日	中学校研修の日（幼小中連携授業参観）	
		17 日	避難訓練（不審者対応避難訓練）	
		26 日	ふなっ子祭り	
	11 月	5 日	愛校作業（船越）	
		8 日	運動会	
		21 日	地区音楽発表会（シュガーホール）	
	12 月	11 日	体育集会（縄跳び大会）	
		16 日	修学旅行 （～ 17 日 東村・本部周辺）	
		23 日	芸術鑑賞会（劇）	
		25 日	2 学期終業式	
	1 月	6 日	3 学期始業式	
		7 日	校内書き初め会	
		16 日	避難訓練（地震）	
		22 日	創立 80 周年子ども式典	
		25 日	学習発表会 創立 80 周年記念式典	

南城市立船越小学校創立80周年記念事業実行委員会会則

第1章 総 則

(名称・事務局)

第1条 本会は、南城市立船越小学校創立80周年記念事業実行委員会（以下「実行委員会」という）と称し、事務局を船越小学校に置く。

所在地 南城市玉城字船越960番地

名 称 南城市立船越小学校

電話 098-949-7108

(組 織)

第2条 本会は、船越小学校PTA会員、卒業生及び本会の趣旨に賛同する者をもって組織する。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は、南城市立船越小学校創立80周年の記念事業を達成することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 記念式典に関する事
- (2) 記念誌の発刊に関する事
- (3) 教育環境の整備と充実に関する事
- (4) その他、本会の目的達成に必要な事項に関する事

第3章 役 員

(役 員)

第5条 本会には次の役員を置く。

会 長	1名
副 会 長	2名（1名はPTA会長を充てる）
事務局長	1名
事務局次長	1名
書記・会計	2名
各専門委員長	1名
各専門副委員長	1～2名

(顧問)

第6条 本会に若干名の顧問を置く。顧問は、本会の諮問に応ずる。

(役員の選出)

第7条 役員の選出は次のとおりとする。

- (1) 会長、副会長、監事は総会で選出する。
- (2) 各正副委員長、事務局長、事務局次長、書記会計は会長が委嘱する。

(役員の職務)

第8条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、会を代表して会を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、会長があらかじめ指名した順序でその職務を代理するとともに、又はその職務代行をする。
- (3) 専門委員会委員長は、本会の事業の企画運営(実践活動)をする。
- (4) 事務局長は事務局を統括し、会長の指示を受け書記・会計を掌握する。

(監事)

第9条 本会に監事3名を置く。監事は実行委員会の経費運用に関し、次の各号に規定する業務を行う。

- (1) 実行委員会の経費の状況を監査すること
- (2) 経費の運用状況又は業務の執行について、役員会及び解散総会場で報告すること。

(専門委員会の職務)

第10条 第4条の事業を遂行するため専門委員会を組織し、次の職務を行うものとする。

- (1) 総務委員会 ……式典関係と各委員会との連絡調整をすること。
- (2) 財務委員会 ……実行委員会の財務、予算、決算に関すること、募金計画と募金活動に関すること
- (3) 記念誌編集委員会 ……記念誌の編集・発刊に関すること
- (4) 事業計画委員会 ……記念事業の遂行及び学校内の環境整備等に関すること
- (5) 事務局 ……実行委員会役員会との調整、各委員会との連携及び連絡調整、対外的な折衝事項に関すること

(役員の任期)

第11条 本会の役員の任期は、事業完了までの期間とする。

(役員報酬)

第12条 書記・会計は有給とし、その他の役員は無償で誠意と奉仕の精神で職務を遂行するものとする。

第4章 会 議

(総会)

第13条 総会は、第2条で規定する者で構成し、本会の最高議決機関とする。

- (1) 総会は会長が招集する。(実行委員会総会は学校長並びにPTA会長が招集する)
- (2) 総会の議長は会員の中から選出し、議事は出席者の過半数をもって決議する。
- (3) 総会は、次の事項を行う。
 - ① 会則の制定及び改廃
 - ② 会長、副会長及び監事の選出
 - ③ 予算及び決算の承認
 - ④ 事業計画の承認
 - ⑤ その他の必要な事項

(評議員会)

第14条 評議員会は、第5条で規定する役員及び各専門委員、PTA各支部の支部長で構成し、会長が招集する。

- (1) 総会から委嘱された事業及び緊急かつ重要な案件を審議決定する。
- (2) 会長が必要に応じて招集することができ、総会に代わる議決機関である。

(役員会)

第15条 役員会は第5条で規定する者で構成し、次の事項を行う。

- (1) 総会の決議事項の遂行にあたる。
- (2) 企画運営を図るとともに事業を推進する。

(専門委員会)

第16条 専門委員会は会長が委嘱した者で構成し、総会の決議を得て、次の事項を行う

- (1) それぞれが委託された事業について、具体的計画を立て、推進する。

(解 散)

第17条 本会の解散は、記念事業終了後の解散総会で決議されたときをもって解散とする。

第5章 経費及び会計

(経費の構成)

第18条 本会の経費は次のとおりとする。

- (1) 寄附金等
- (2) 積み立て金
- (3) その他の収入

(経費の管理)

第19条 本会の経費は、会長の監督のもと会計担当が管理・保管する。

(事業の収支に係る予算)

第20条 本会の事業の収支に係る予算は、実行委員会総会の場で承認を得るものとする。

(収支決算)

第21条 本会の収支決算は、会長及び副会長の監督・承認のもと、会計担当で作成し、評議員会及び役員会での審議の後、監事の監査を受け、実行委員会解散総会の場で承認を得るものとする。

(権利の放棄)

第22条 本会の会計期間は、本会の結成より事業完了（解散）までとする。

(余剰金の処分)

第23条 本会の事業完了後、余剰金が生じた場合は教育委員会へ寄附する。

第6章 補 則

(書類及び帳簿の備付等)

第24条 本会には、次の書類及び帳簿を備えなければならない。ただし、評議員会並びに総会の承認を得た場合、これらに代わる書類及び帳簿を備えたときは、この限りではない。

- (1) 役員の名簿並びに組織図
- (2) 寄附者名簿
- (3) 趣意書
- (4) 金銭出納簿（収入支出に関する帳簿）
- (5) 会議録（役員会、評議員会及び総会の議事に関する書類）
- (6) 事務局作成資料並びに外部発送書類等
- (7) 預金通帳等
- (8) その他必要な書類及び帳簿

附 則

この会則は、令和7年3月25日より施行する。

【創立80周年記念事業実行委員会組織図】



